

“観光を通じた地方創生のSDGs達成貢献”に関する勉強会

報告書 2019年度活動報告/分科会提案者：株式会社JTB/株式会社JTB総合研究所

参加メンバー 19団体

(メンバー) 北海道、北海道ニセコ町、北海道倶知安町、宮城県大崎市、山梨県、山梨県山梨市、長野県、三重県伊賀市、福岡県北九州市、埼玉県越谷市、株式会社アイティエルエス、株式会社ポリテック・エイディティ、日本ミクニヤ株式会社、株式会社横浜フリースポーツクラブ(横浜FC)、株式会社近畿日本ツーリスト首都圏、株式会社エムシープランニング、一般社団法人こども食堂支援機構、草津温泉ホテルヴィレッジ(運営：株式会社中沢ヴィレッジ)、株式会社ゆうちょ銀行

分科会での活動概要

- 活動①：サステナブル・ツーリズムの検証・理解**
(年度内1～2回)
- 活動②：サステナブル・ツーリズムの方向性の確認**
(年度内2～3回)
- 活動③：有識者を交えた国内外のサステナブル・ツーリズム成功事例の紹介**
(年度内2～3回)

回	各回の概要
第1回	・5月30日13:30-15:30 JTB総研内会議室にて ・内容:各メンバー紹介と今後の進め方の案内
第2回	・7月26日13:00-17:00 JTB総研内会議室にて ・内容:サステナブル・ツーリズムの潮流、指標検証
第3回	・9月27日13:00-17:00 JTB総研内会議室にて ・内容:ステークホルダーの役割と官民連携で進めるべき施策
第4回	・11月22日13:00-17:00 JTB総研内会議室にて ・内容:認証制度の紹介
第5回	・1月24日13:00-17:00 JTB総研内会議室にて ・内容:国連パワートプログラム、中国の事例紹介

分科会の活動成果

- 成果①：地方創生に向けたサステナブル・ツーリズム答申案の策定準備**
勉強会の参加者向けにサステナブル・ツーリズムの方向性を示す答申案を作成し公開した。各勉強会毎に、参会者から意見をつのり、修正・加筆しながら現在も策定準備に取り組んでいる。
- 成果②：SDGsへ貢献する観光指標・協議会の検討**
成果①であげた答申案にて、指標や協議会の必要性を検討。既に指標が設定されている国外地域の事例を紹介し、クワイテリアとなるべく認証制度を管理する認証機関を会員へ紹介。認証制度・機関を初めて知ったといった声もあり、参加者の知見を広げられたと考える。

今後の課題・展望

- 【課題】観光を取り込むことで自治体におけるSDGs推進が効果的に進む具体的な領域を検討・提案できていないので、モデル地域を中心に実証していく。
- 【展望】最終的に目標としているSDGsを推進する観光エコサイクルモデルづくりを行うべく今後も引き続き成功事例を探し、紹介していく。